

本事業の背景及び趣旨について

国土交通省 総合政策局
参事官(国際物流)室

ASEANにおけるコールドチェーンの需要の高まり

－ 今後大幅に増加する中間・高所得層 －

【ASEAN地域の中間所得層・高所得層の世帯数の推移】

	2014年	2030年
中間所得層	8,000万世帯	1億3,000万世帯
高所得層	1,000万世帯	2,000万世帯

(※1) シンガポール、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナムの6か国を集計
 (※2) 中間所得層：年間の可処分所得が5,000ドル以上35,000ドル未満の世帯
 (※3) 高所得層：年間の可処分所得が35,000ドル以上の世帯
 (出典) みずほ産業調査 Vol.54 (2016年)「世界の潮流と日本産業の将来像-グローバル社会のパラダイムシフトと日本の針路-」

－ 伝統的市場から近代的市場への転換が進む －

【ASEAN主要国の流通形態における近代的市場の占める割合の推移】

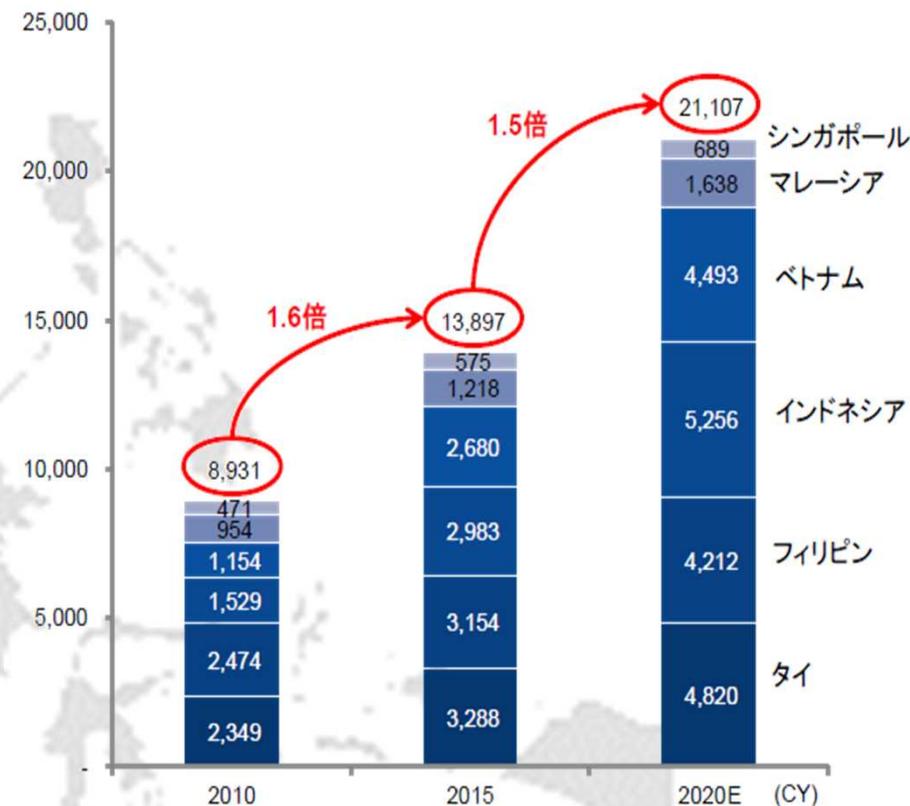
	2010年	2020年
タイ	40%	51%
マレーシア	38%	47%
シンガポール	70%	74%
インドネシア	12%	19%
フィリピン	23%	32%
ベトナム	4%	6%

(※1) 伝統的市場：個人商店、屋台、露店といった小規模流通形態
 (※2) 近代的市場：デパート、スーパーマーケット、コンビニエンスストア等の資本化された発展的流通形態
 (出典) みずほ産業調査 Vol.54 (2016年)「世界の潮流と日本産業の将来像-グローバル社会のパラダイムシフトと日本の針路-」

－ 拡大しつつある冷凍冷蔵食品市場 －

【ASEAN主要国の冷凍冷蔵食品市場の推移】

(単位：100万ドル)



(※1) 乳製品、アイスクリーム、冷凍加工食品、冷蔵加工食品の消費量の合計を集計

(出典) MIZUHO Research & Analysis no.12 (2017)「特集 成長市場ASEANをいかに攻略するか -多様性と変化がもたらす事業機会を探る-」

ASEANのコールドチェーン物流の現状

- コールドチェーン物流の未整備・質の悪さ -

- ✓ 現地事業者の冷蔵冷凍貨物の扱いに関する知識不足 (外気温下での輸送、積み替え・卸しなど)
- ✓ 冷蔵冷凍倉庫への不安定な電力供給
- ✓ 劣悪な道路インフラ など

■ 2018年 Logistics Performance Index ランキング

ASEAN主要国	インフラ整備		品質と競争力	
	スコア	世界順位	スコア	世界順位
タイ	3.14	41	3.41	32
ベトナム	3.01	47	3.40	33
マレーシア	3.15	40	3.30	36
インドネシア	2.90	54	3.10	44
フィリピン	2.73	67	2.78	69
日本 (参考)	4.25	2	4.09	4

出典：Full LPI Dataset (世界銀行)

走行中に積み荷が不安定になるトラック



温度管理されていない環境での積み込み作業



物流由来の社会問題

深刻な食料廃棄問題 南アジア・東南アジア

食料紛失・廃棄の約90%は、製造・流通段階で発生



出典：Food and Agriculture Organization, United Nations

深刻な食品衛生問題

食品由来の疾病や死亡の頻発

地域	食品由来の疾病	食品由来の死亡
東南アジア	1.5億件/年	17.5万人/年

出典：WHO



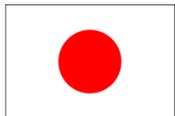
総合物流施策大綱（2017年度～2020年度）（平成29年7月閣議決定）

III.1. サプライチェーン全体の効率化・価値創造に資するとともにそれ自体が高い付加価値を生み出す物流への変革 ～競争から共創へ～

- (1) 連携・協働による物流の効率化
- (2) 連携・協働を円滑化するための環境整備
- (3) アジアを中心としたサプライチェーンのシームレス化・高付加価値化**

② 質の高い我が国物流システムの海外展開支援

“日本の「強みのある技術・ノウハウ」を最大限にいかして、アジアの膨大な物流需要を積極的に取り込み、我が国の物流業の力強い成長へとつなげるとともに、アジア諸国の社会や経済の発展に貢献する。そのため、**我が国の高品質なコールドチェーン物流サービス等を国際標準化し**、アジア諸国等において普及を図るとともに、外資規制の緩和に向けた働きかけや官民ファンドの活用により、質の高い我が国物流システムのソフト面・ハード面での展開を支援する。”



日ASEAN交通連携（2003年～）

パクセーアクションプラン（2013年12月～）

4つ
の柱

交通インフラ

質の高い、持続可能な交通

交通円滑化

人材育成

- (1) 物流人材育成
- (2) グリーン物流
- (3) コールドチェーン物流プロジェクト

➤ 「日ASEANコールドチェーン物流ガイドライン」の策定（2018年11月）

- ASEANにおけるサービスレベルと特徴を考慮した上で、物流事業者及び各国物流担当省庁が物流に関する制度、インフラ等の整備を行っていく際の基本的な留意事項を盛り込んでいる。
- B to B輸送による冷蔵、冷凍、定温に区分された低温帯を対象とする。
- 保冷管理・輸送に関するハンドリング手順を「良い例」、「悪い例」の写真を用いて表記する。
- 2018年11月の日ASEAN交通大臣会合にて承認された。

「ASEANスマートコールドチェーン構想」におけるビジョン及び戦略（2019年3月策定）に基づき、オールジャパン体制でASEANにおけるコールドチェーンの構築を目指す

要旨

- ASEANにおけるコールドチェーン物流需要を我が国物流事業者及び物流機器メーカー等が確実に捉えることができる環境を醸成し、我が国の物流システム、規格・基準及び技術を有機的に活用した、高品質で環境に優しいコールドチェーン（スマートコールドチェーン）を実現する。
- ビジョン及び戦略に基づき、国土交通省・農林水産省・経済産業省・環境省の関係省庁及びJICA・JETRO・JBIC・JOINの関係機関が連携して取り組む。
- 対象期間（2019～2023年度）において、特にコールドチェーン物流の需要拡大が見込まれるインドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシアの5カ国で重点的に日本式コールドチェーン物流の展開支援を実施する。

構想におけるビジョン及び戦略

ビジョン1

コールドチェーン物流を必要とする高付加価値な貨物需要の創出促進

戦略

- 1 食品安全、冷凍冷蔵食品のメリットや日本食・食文化等の消費者に対する普及啓発活動
- 2 ハラル物流の需要に対応するため、ハラルに関するセミナー開催等

ビジョン3

我が国事業者の新たなコールドチェーンビジネスの創出支援

戦略

- 1 商談会など、現地荷主等とのビジネスマッチング機会の創出
- 2 新たなコールドチェーンビジネスのモデル事業実施の支援

ビジョン2

我が国事業者の優位性を確立するための基盤整備の促進

戦略

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 1 コールドチェーンに関する国際標準化等の推進 | 4 道路、冷蔵冷凍施設、電力安定供給等のハードインフラの整備を促進 |
| 2 食品衛生管理等に関する国際認証制度の普及 | 5 現地事業者や政府職員に向けた物流ワークショップ等の実施 |
| 3 外資規制等の改善交渉 | |

ビジョン4

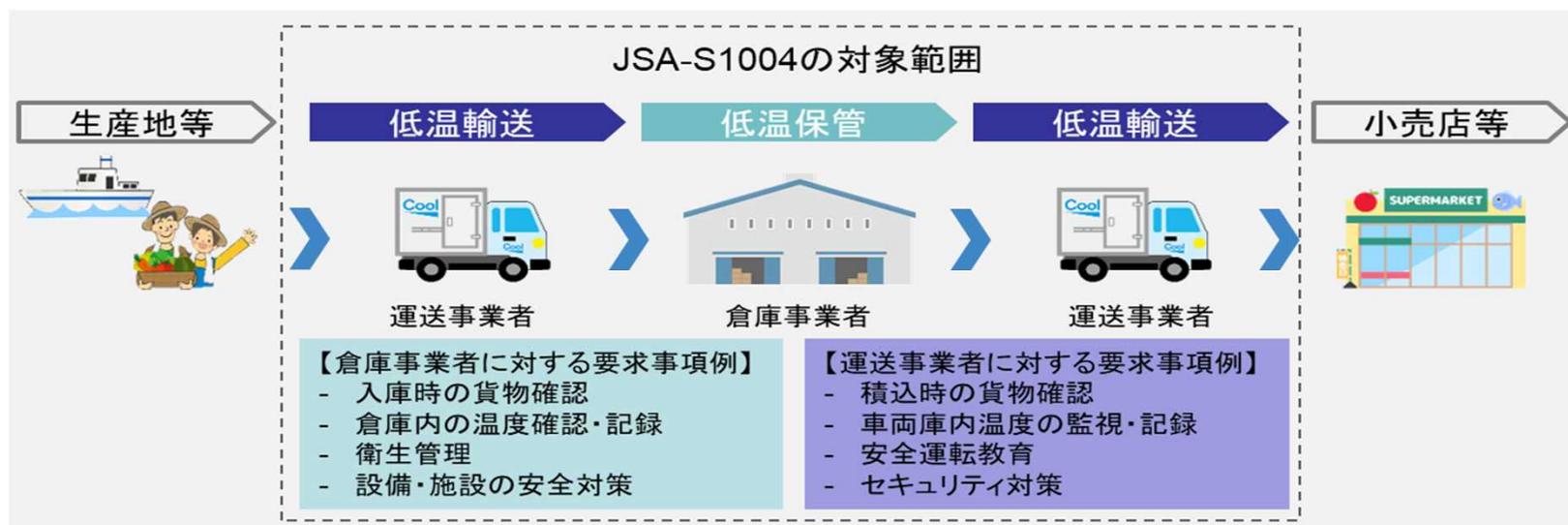
新技術等を活用したコールドチェーン物流の構築支援

戦略

- 1 IoTやAI等の新技術による効率化に資する我が国物流関連機器の導入を促進
- 2 環境負荷の軽減に資する物流関連機器の導入推進にむけた働きかけ

JSA-S1004 (2020年6月)

ASEAN各国のコールドチェーン物流のサービスレベル向上及び日本の物流事業者の競争力確保のため、日ASEANコールドチェーン物流ガイドラインを基にした民間規格JSA-S1004を策定。



【経緯】

2019年7月 第1回JSA-S1004規格作成委員会	2020年1月 第4回JSA-S1004規格作成委員会
2019年9月 第2回JSA-S1004規格作成委員会	2020年5月 第5回JSA-S1004規格作成委員会
2019年11月 第3回JSA-S1004規格作成委員会	2020年6月 JSA-S1004発行

取組

- JSA-S1004のASEAN各国での普及を推進するため、**包括的な普及戦略**及び**各国個別のアクションプラン**を当普及検討委員会にて議論・策定。
- 当普及検討委員会にて策定した普及戦略及びアクションプランを基に、来年度以降**各国へのアプローチ**を実施。

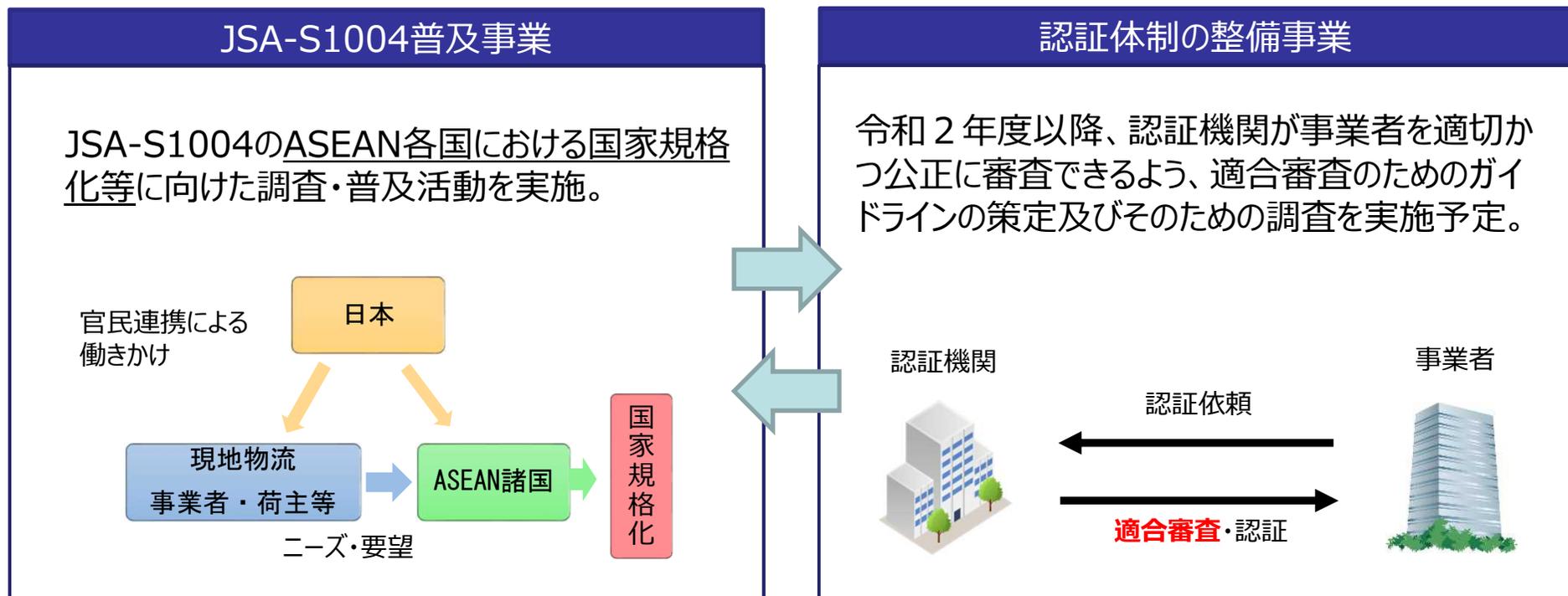
目的

- ASEAN各国におけるJSA-S1004を基にした**国家規格の策定**
- 日系を中心とした**ASEANの物流事業者によるJSA-S1004の取得**

期待効果

- ASEANコールドチェーン物流市場における**現地物流事業者のサービス品質向上**
- 我が国物流事業者の**競争優位性**の確保、**海外展開の促進**

- 規格の取得を促進するには、**取得しようとする事業者を審査するための認証体制**の整備が不可欠。
- 本普及事業にて策定する戦略も踏まえ、認証体制の確立に向けた取組が必要。
((一財) 運輸総合研究所と連携して実施)



JSA-S1004の効果的な普及のため、普及事業及び認証体制の整備事業を連動させながら進める。